

社会言語科学会第40回大会報告

阿部 新 (大学院国際日本学研究院准教授)

秋に開催された本学会の大会報告を、春開催大会の報告に引き続き、行う。

1. 大会概要

春は3月に首都圏で、秋は9月に首都圏以外で開催されている。

<資料①～③>

第40回は2017年9月16日(土)・17日(日) 大阪府吹田市の関西大学にて開催。
(台風の接近により、2日目は最初の口頭発表を実施した後、中止となった。)

9月の大会は、以下のようなプログラムであった。

土曜日：午前中＝口頭発表，昼休み＝JASS カフェ，午後＝招待講演・ワークショップ

日曜日：午前中＝口頭発表，午後(中止)＝ポスター発表・ワークショップ

・JASS カフェ＝昼食を食べながら気軽な雰囲気の中で研究者同士が語らうイベント。会員は
テーマやゲストの希望を提案できる。

・ワークショップ＝9月大会のみ実施。パネルセッションのような形態。

3月の大会は、以下のようなプログラムが標準的。

土曜日：午前中＝口頭発表，昼休み＝JASS カフェ，午後＝大会発表賞授賞式・シンポ

日曜日：午前中＝ポスター発表，午後＝口頭発表

発表分野は多岐にわたる。

※次回大会(2018年3月10日・11日 東洋大学)の発表を募集中。11月7日17時申し込み締め切り。次回は学会設立20周年記念の大会。ポライトネス理論でのLevinson博士による特別講演(英語)があります。この講演は無料です。

2. 発表紹介

<資料④> 本田弘之氏・倉林秀男氏「公共サインの客観的評価のための試み—英訳にあらわれた「ズレ」からそれを探る—」(口頭発表)

<資料⑤(参考)> 持田祐美子氏「韓国におけるデパート店内の店舗名について—ファッション系の店舗を中心に—」(口頭発表)

以上